

中山間地域農業を担う新たな営農体制の構築

- 計画期間 令和3年度～令和4年度
 - 対象者 農事組合法人ふるせきファーム10人
- ＜大河原農業改良普及センター＞
- 竹林凌、阪本松男、高嶋名世瑠、伊藤和子、赤沼岳

川崎町古関地区の位置図



1. 課題の背景

高齢化
条件不利地
担い手不足

ほ場整備を契機に
法人設立を目指す



集落営農の持続的発展
農業所得の拡大
担い手の確保

2. 対象者の概要

農事組合法人ふるせきファーム 10人

< 古関地区における経緯 >

平成29年度 古関地区ほ場整備推進協議会（33戸）
平成30年度 集落全戸を対象に営農意向アンケート実施
令和元年度～ 法人運営のイメージづくりに向けて支援

< 農地整備事業 >

受益面積：24.8ha

令和3年度採択→令和5～7年度面工事→令和8年度完了予定

3. 活動目標

(1) 定性的目標

① 法人運営支援

R3年度 農事組合法人が設立される

R4年度 農事組合法人が運営される

② 園芸取組支援

R3年度～R4年度 . . . 園芸品目の取組拡大が図られる

(2) 定量的数値目標

共同作業による園芸品目（ブロッコリー）の取組面積

R2年度	R3年度	R4年度
15a	50a	70a

4. R3活動事項 法人設立支援



- ・ 毎月 1 回以上の専門家派遣による勉強会の開催支援
- ・ 農地整備と経営収支を見通した営農計画の作成を支援

4. R3活動の成果 法人設立支援

農事組合法人ふるせきファーム設立

① 設立年月日：令和3年10月8日

② 構成員数：10名
(平均年齢70歳)

③ 栽培品目

- ・ 水稲 (5.4ha)
- ・ そば (13.1ha)
- ・ ブロッコリー (1ha)
- ・ さつまいも (1ha)



5. R4活動事項 法人運営支援



- ・ 毎月の理事会開催支援
- ・ 農業経営・就農支援センターと連携した経営管理の勉強会開催支援

■ 貴社 ● 土地利用型事業者

1. 経営理念・方針・戦略について

て

25

2. 雇用管理について

9. 総合的評価

20

15

10

5

0

3. 人事・賃金管理について

8. 労働安全衛生について

4. 組織・就業管理について

7. 人材育成・能力開発について

6. 福利厚生について

5. 人間関係管理について

5. R4活動事項 法人運営支援

< Before >

2022年 10月 9日(日) 作業日報 氏名 [redacted]

品目	作業内容	使用機械名	地番	割合	従事数量	単ポイント	従事ポイント	部長印
ブロッコリー	防虫・防鳥対策	七水動力	坂下・葉師堂	全面積・一部	a・4時間・回	1 Pt	4 Pt	
稲作	稲刈り後の処理	松峯		全面積・一部	a・1時間・回	1 Pt	1 Pt	
				全面積・一部	a・時間・回	Pt	Pt	
				全面積・一部	a・時間・回	Pt	Pt	
				全面積・一部	a・時間・回	Pt	Pt	
				全面積・一部	a・時間・回	Pt	Pt	
				全面積・一部	a・時間・回	Pt	Pt	
				全面積・一部	a・時間・回	Pt	Pt	
				全面積・一部	a・時間・回	Pt	Pt	
				全面積・一部	a・時間・回	Pt	Pt	
				全面積・一部	a・時間・回	Pt	Pt	
				全面積・一部	a・時間・回	Pt	Pt	
				全面積・一部	a・時間・回	Pt	Pt	
				全面積・一部	a・時間・回	Pt	Pt	
				全面積・一部	a・時間・回	Pt	Pt	
1日の作業時間(休憩除く)				5 時間	1日のポイント獲得数			5 Pt
気がついた点(圃場の様子、作物の生育状況、機械の故障など)								給油(トラクター) ①・済

< After >

月日	場所	作目	作業内容	作業機1	作業機2	単位	ポイント	従事時間 or面積 or回	作業別ポイント	水稲	ブロッコリー	タマネギ	ソバ	番号
		水稲	肥料散布	トラクター	グラントソア	10a	1	4	4	4				5
		水稲	育苗			01時間	1	4	4	4				2
		水稲	草刈り		0ウイングモア	1時間	1.2	4	4.8	4.8				10
		水稲	共通	運搬	軽トラック	1回	1.2	4	4.8	4.8				17
		ブロッコリー	病害虫防除			0	0	0	1	2	2	2		30
		水稲	肥料散布	トラクター	グラントソア	10a	1	1	1	1				5
		水稲	草刈り		刈り払い機	1時間	1.3	4	5.2	5.2				12
		ブロッコリー	後片付け			01時間	1	3	3	3				33
		水稲	管理			01時間	1	1	1	1				15
		水稲	共通	移動	軽トラック	1回	0.2	1	0.2	0.2				16
		水稲	共通	運搬	軽トラック	1回	1.2	1	1.2	1.2				17
		水稲	草刈り		0ウイングモア	1時間	1.2	4	4.8	4.8				10
		水稲	草刈り		スパイダーモア	1時間	1	4	4	4				11
		水稲	草刈り		刈り払い機	1時間	1.3	4	5.2	5.2				12
合計														45.2
内訳										水稲				40.2
										ブロッコリー				5.0
										タマネギ				0.0
										ソバ				0.0
										()				0.0

・ 作業日誌や従事分量配当の集計作業における事務改善を支援

5. R4活動の成果 法人運営支援



- 営農開始1年目で営農計画に沿って作業できた
- 従事分量配当を計画通りに配分することができた

6. R3～R4活動事項 **園芸品目の取組支援**



- ・ 人手を要する共同作業の計画
- ・ ブロッコリーの育苗管理や病害虫防除等の栽培技術支援

6. R3～R4活動事項 園芸品目の取組支援



- ・ブロッコリーの作期検討
- ・ブロッコリーの経営調査（農業・園芸総合研究所）

6. 活動の成果 園芸品目の取組支援

< 定量的数値目標 >

年度	R2年度	R3年度	R4年度
目標	15a	50a	70a
実績	15a	80a	100a

項目	実績 (円)
粗収益	2,596,160
所得	1,179,500



- ・ 園芸品目の取組拡大が図られた
- ・ 収益性を期待できる園芸品目としてブロッコリー栽培を確立した

7. 今後に向けて

①新たな園芸品目の取組

高収益作物としてサツマイモを導入する

②後継者確保

法人の収益性や労働環境の整備により魅力を高め、外部人材の雇用を目指す

③他地区への波及

中山間地で課題を抱える地区において、先進事例として紹介する